

# 穴見れいな

あな  
な  
み

党清瀬市 介護・福祉アドバイザー  
清瀬市議予定候補



## あなたの大切な声を 市政にとどけます

ごあいさつ

深沢まさ子・藤本いせ子両市議から  
**バトンタッチ!**



障がい者の親であるわたしは、共産党の議員のかたがたに支えられて、声をあげる力をもらいました。福祉職として、高齢者、障がい者、ひとり親家庭の支援を通して沢山の心の声を聞いてきました。こんどは、わたしがあなたの大切な声を必ず政治に届けます。わたしは被爆者2世です。核兵器のない世界がわたしの何よりの願いです。軍備増強と9条改憲の動きは、みなさんと力をあわせてストップさせたいと決意しています。

【プロフィール】 1971年西東京市生まれ、51歳。野塩在住。子ども2人。都立武蔵高等学校卒業。東京通信大学在学中。訪問介護事業所所長、障害者グループホーム職員等歴任。趣味は釣り、野球観戦、ピアノを弾くこと。

【お気軽にご相談をお寄せください】 ☎080-6186-0978 mail:anami.kiyose.jcp@gmail.com



## 穴見れいな のお約束

### 戦争・平和

- ・暮らし破壊の戦争する国づくりストップ
- ・大軍拡・増税に反対します
- ・憲法9条を生かした平和外交を

### コロナ対策

- ・発熱外来・PCR検査の拡充
- ・感染者・濃厚接触者への支援を



### 国保

- ・国民健康保険税の値上げストップ
- ・子どもの均等割軽減の継続を
- ・誰もが受けとれる傷病手当金を

### 子育て



- ・小中学校の学校給食費の無償化を
- ・18歳までの子どもの医療費完全無料化
- ・市独自の給付型奨学金制度の創設を

### 街づくり

- ・国民年金で入れる特別養護老人ホームを
- ・身近な住民サービス野塩・松山出張所の存続を
- ・障がい者が安心して暮らせる場を

### ジェンダー平等

- ・あらゆる分野でジェンダー平等の市政を
- ・多様性を認め合う街に

### 気候危機



- ・CO2削減に緑地が果たす役割は重要
- ・清流とみどり、都市農業を守ります

## 穴見れいなさんにバトンタッチします

福祉の現場で奮闘していた穴見れいなさん。介護される側、する側の両面をしっかりと受け止める人です。みんなの願い、命・くらし・平和を守る穴見れいなさんを応援します。



市議会議員  
藤本いせ子

今期限りで引退します。私の活動を穴見れいなさんが引き継ぎます。知的障がいのお子さんの母親としてのいのちの尊厳に向き合い、福祉現場で働いてきた専門家です。私に寄せていただいたご支援に倍するお力添えを、穴見れいなさんにお寄せいただきますようお願いいたします。



市議会議員  
深沢まさ子

# 障がい者の親として、福祉職として—いのちと尊厳まもりぬく 穴見 れいな

## 私の決意 —福祉二筋、市政にもつらぬく—

### 子育てを通じて行政の支援の必要性を痛感

わたしの娘には重度知的障害があり、都立清瀬特別支援学校をはじめ、保健所、放課後デイサービスなどの福祉施設、保護者グループなどのつながりの中でささえられてきました。

5年前に夫を亡くし、それをきっかけに、娘は徘徊をし、自分や他人を傷つけるよう

になり、それを乗り越える苦勞もありました。行政の支援の必要性を痛感しました。



支えないと座ることが難しかった幼少期の娘

### 訪問介護事業所所長を経験、市政挑戦を決意



訪問介護事業所の所長として働く

地域のNPOで訪問介護事業所の所長として、24時間対応で、高齢者、障がい者、

ひとり親家庭を支える仕事もしました。さらに、通信大学で学びを深めるうちに、福祉の現場で必要なのは、当事者への丁寧な寄り添いであり、専門的なケアの技術だと確信しています。現場での経験から、「弱い立場のかたに、まだまだ支援が足りない」「弱者を支えるかたの力になりたい」と強く思い、市政に挑戦することを決意しました。

### ヤングケアラー条例など、福祉政策をひろげたい

高校生の頃、家庭の事情で祖父母と暮らすことになりました。祖母が脳梗塞で倒れ、私は誰にも相談できないままヤングケアラー（家族の介護や家事を担う子ども）に。介護技術もなく、祖母をトイレに連れていくことも上手く出来ず、どうしたら良いのか常に不安でいっぱいでした。ヤングケアラーを孤独にたくありません。

三親等以内に障がい者のいる方が4000万人というのが日本の現状です。福祉現

場の人材不足の大きな要因の一つは低賃金にあります。「ケアにやさしい政治」に転換し、当事者、関係者が誇りを持って利用し、働くことができるようにするべきです。それは、すべての市民のくらしの安心につながるはず。子育て中の方、障がいのある方、高齢の方、そこに関わる地域のすべての方を支える重層的な福祉施策（断わらない支援）をと、思っています。

### 私の思いを国会でぶつけてくれた共産党に希望を見た

2019年の宮本徹衆議院議員の国会質問で、わたしの書いたアンケートを宮本議員が読み上げてくれました。「18歳になった娘は、特別支援学校と放課後デイサービスを卒業。作業所からは15時に帰宅。夫を亡くした私が正規の職を失っては、生計は成り立たない。」悲痛な叫びをすくいあげてくれました。障がい者の青年期の余暇と保護者の就労の保障に光があたりました。娘が障害を理由に、検査や医療を受けられなかったときには、清瀬市で保護者のか

たと、この問題に取り組んでいた原のり子都議が、公立病院が障がい者のコロナ治療を担うと東京都に確約させてくれました。日本共産党の議員の真剣さ、丁寧な寄り添い、熱い思いを目の当りにして私たち自身も変わっていかねければと、日本共産党に入党し、市政を目指すようになりました。



駅頭宣伝をする私

## 穴見れいなさんに期待します



都議会議員 原のり子

「この人は市政の場で活躍してほしい」。2021年夏の都議選で、応援のマイクを握ってくれた穴見さんのスピーチにそう思いました。たくさん苦勞をしてきた人ですが、その経験を通じて、人とつながり、学び、政治に希望の光を見つけた人。やさしく、へこたれない。心からリスパクト！



衆議院議員 宮本徹

私は、穴見れいなさんから多くのことを学んできました。障害のある子とその家族の尊厳と権利を守るために格闘してきた穴見さんが市政の場で活躍すれば、困難を抱えるたくさんの方に、しっかりと支援の手が差し伸べられる、あたたかく、やさしい街になっていくと確信しています。

## 私たちも穴見さんを応援します

福祉関係者・友人

八幡 茂子

さらにハードな道を選び歩き始めた穴見さん！そのパワーの源は？「娘さんが飛び出さないように玄関に寝ていた時もあった」障害児の親としての痛みを苦しんでいる人の社会課題解決に転化！応援するしかない。

児童福祉施設・施設長

下田 大輔

穴見れいなさんを推薦する理由。他人の苦しみを自分に置き換えて親身になる。労を惜しまない。差別がない。泣き虫なのに度量が大きい。そんな人だから周りに人が集うのです。

キリスト教信徒伝道師

森田 俊隆

「被爆二世」「重度知的障害をもった娘さん」最大の応援者、夫との死別」その中で通信大学での学び。そして市政への挑戦。言葉を失う。心から応援致します。